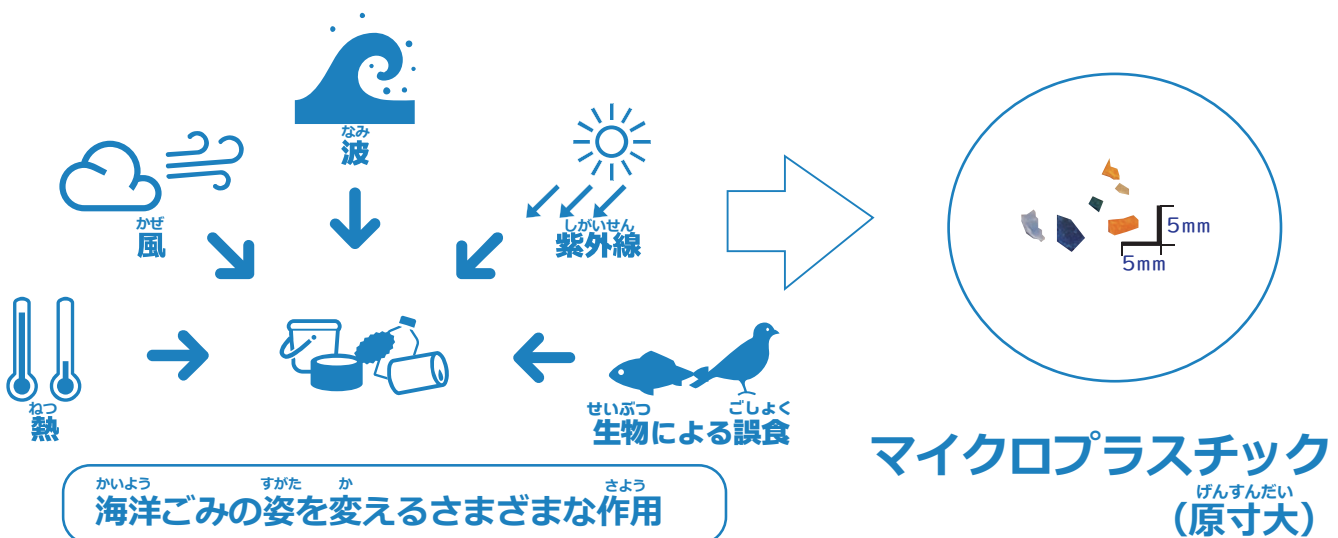


# マイクロプラスチックをさがしてみよう



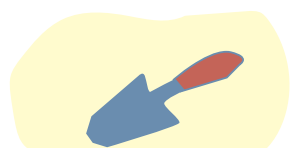
私たちの生活に欠かせないプラスチック製品ですが、適切に処理されずに一度自然に流出するとさまざまな作用で壊れたり劣化したりと、小さなかけらとなります。このようにしてできた5mm以下のプラスチックのかけらのことをマイクロプラスチックといいます。

マイクロプラスチックは回収がむずかしく、生き物がエサと間違えて食べたりと環境や生き物へ与える影響が深刻です。身近な海の砂浜にマイクロプラスチックがあるかどうかさがしてみましよう。



# マイクロプラスチックをさがしてみよう

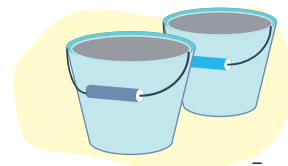
## 1 準備するもの じゅんぴ 準備できたものには を入れよう



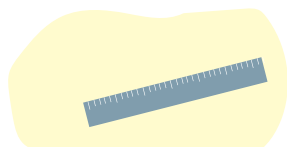
①スコップ



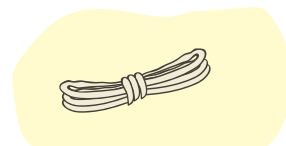
②わりばし4本 ほん



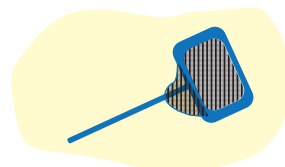
③バケツ2個 こ



⑤30cm定規 じょうぎ



⑥紙ヒモ1m かみ



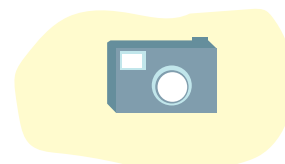
⑦目の細かい網 め こま あみ



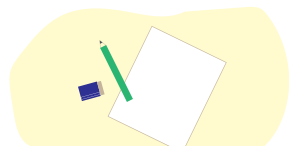
⑧容器1個 ようき こ



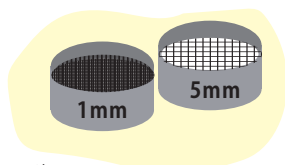
⑨ピンセット



⑩カメラ  
(携帯でもOK) けいたい



⑪ノートと筆記具 ひっきぐ

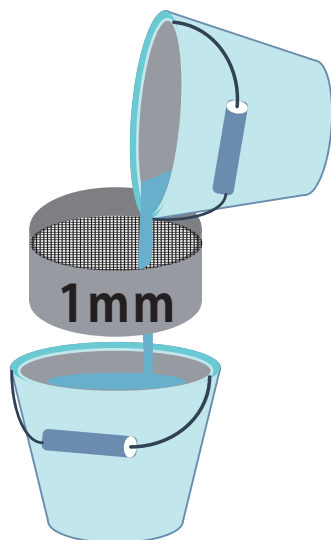


⑫目のサイズが5mmと1mm程度のふるい2つ め ていど  
(なければ茶こしでもOK) ちゃ

## 2 ろ過した海水を準備しよう か かいすい じゅんぴ

バケツ1杯分の海水をふるいでろ過して ばいぶん かいすい か  
ごみを取り除いたきれいな海水を準備しよう と のぞ かいすい じゅんぴ

ろ過とは、液体(海水)に か えきたい かいすい  
まざった余計なものを よけい  
取り除く実験の手順です と のぞ じっけん てじゅん



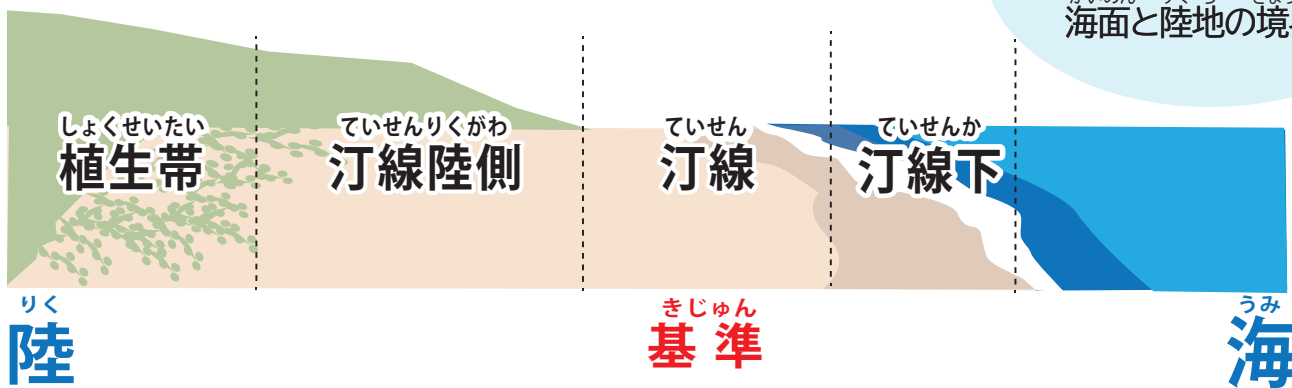
# マイクロプラスチックをさがしてみよう

## 3 採取場所を決める

海に流れ出たマイクロプラスチックは、波により陸へ運ばれます。波が打ち寄せる場所「汀線」を基準にして下記の4カ所で砂を採取しマイクロプラスチックがふくまれているか調べてみよう。

### ポイント

複数の海岸で採取する場合も下の4カ所で採取する



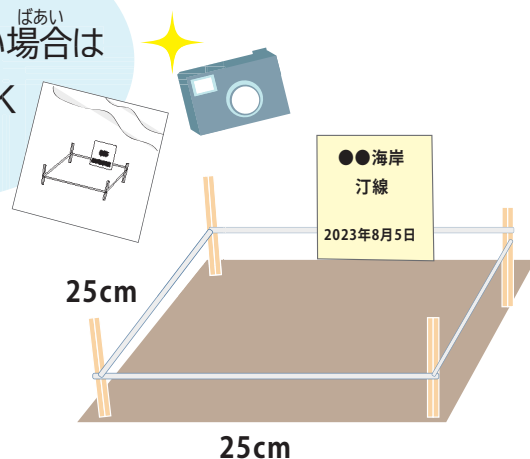
汀線とは？  
波打ち際のこと  
海面と陸地の境界線

## 4 砂を採取しよう

場所の情報（海岸名、場所、日時）を書いたノートと一緒に撮影しよう

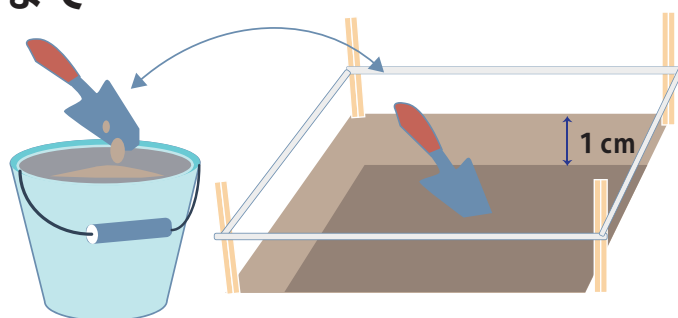
図のように25cm四方にわりばしをさし紙ヒモで場所をきめ、1cmの深さまで砂をほってバケツにいれよう

カメラや携帯がない場合は絵を描いてもOK



### ポイント

同じ方法で他の場所も採取する





## 5 海水をつかって分別する

- 5mmのふるいの中に④で採取した砂を入れ  
②の海水にふるい落とす
- 混ぜた水が落ち着くまで30秒以上待つ  
(物質の重さによって浮いたり沈んだりする)
- 海水に浮かんでいるごみを網で採取する
- 採取したごみを観察し、5mm以下のマイクロプラスチックを容器にわけて入れよう



## 6 マイクロプラスチックの数を調べよう

各採取地で集めたマイクロプラスチックの数を記録しよう

採取地	植生帯	汀線陸側	汀線	汀線下	採取した マイクロプラスチック
●●海岸	11	24	103		
▲ビーチ					

## 7 疑問に思ったことを調べてみよう

【例】

- なぜここにマイクロプラスチックがあるのかな？
- 採取した場所によってマイクロプラスチックの数の変化はあるのかな？
- 別の海岸ではどうなるのかな？など疑問に思ったことを調べてみよう